

ミニバス西路線ルート比較表

区分	現状のミニバス西路線	利用者の声を踏まえた運行間隔の改善・調51ルートの実行(C案)	備考
ルート図	<p>現状のミニバス西路線は、多摩川沿いに品川通り、下石原二丁目、下石原三丁目、多摩川一丁目、小島町三丁目を経由し、調布駅と飛田給駅を結ぶルートである。</p>	<p>改善案(C案)は、調布駅と上石原三丁目間のルートを変更し、品川通りを経由し、下石原二丁目、下石原三丁目、多摩川一丁目、小島町三丁目を経由する。運行間隔は30分間隔から20分間隔に短縮される。</p>	
	○調布駅と飛田給駅間の同じルートを往復	○調布駅と上石原三丁目間の同じルートを往復 ○2時間間隔で調布駅と飛田給駅間の同じルートを往復	
車輌, 台数	小型バス, 2台	小型バス, 2台	
運行収支	約▲23,800,000円 (2021年度見込み)	約▲23,800,000円 (2020年度見込み)	市からの運行補助金: 5,000,000円→15,000,000円
運行間隔	30分間隔	調布駅～上石原3丁目間: 30分間隔⇒20分間隔 調布駅～若宮八幡通り入口～上石原3丁目～飛田給駅: 10時, 12時, 14時, 16時, 18時時台の5便 ※調51(路線バス)6時台, 7時台の2便あり	
メリット		<p>現状の西路線と比較してC案は</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存のバス停をすべて運行する 調布駅～上石原三丁目間は30分間隔から20分間隔での運行となることで利便性が向上する(輸送量1.5倍) 減便となった調51(調布駅南口～車返団地折返場)のルートである品川通り沿いの商業施設, 医療施設の利用が容易になる <p>※ 3(2)便/日→8(7)便/日</p>	
デメリット		<p>現状の西路線と比較してC案は</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布駅と京王多摩川駅に結節する運行数が約1.5倍に増加するが, 飛田給駅までの一部ルートが減便となる 上石原三丁目バス停から以北のバス停(飛田給小学校入口, 地域福祉センター等)を通過するバスが減る 	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉センターから上石原3丁目まで 徒歩約4分(約320m) 飛田給小学校入口から上石原3丁目まで 徒歩約2分(約160m)